



2年生、インターンシップに向けての 学習が本格化してきました！

第1弾 6月18日のロングホームルームの時間に、『働く』を考える』と題して、インターンシップに向けての事前学習が行われました。



前半は本校丸山教諭の講義があり、「人は生きていくのにどれくらいお金がかかるか」「正規・非正規労働者の賃金格差」「就職者の離職率」などについての話を聞きました。後半は、何人かのフリーターの実情を紹介し、その悩みや苦悩に迫ったDVD『働くということ』を鑑賞しました。フリーターで居続けることの苦労や中途採用の難しさなど、ノンフィクションならではのリアリティがあり、生徒たちは真剣に観ていました。学習後、ある生徒からは、「自分もフリーターにならないように、高校

での勉強を最大限に理解して、必ず就職できるようにがんばりたい」との感想がよせられました。

第2弾 7月9日のロングホームルームの時間には、インターンシップを目前に控え、マナー講座が開催されました。冒頭の説明で本校塚田教諭から「メラリアンの法則」の説明がありました。それによると、初対面での印象は、見た目が55%、耳からの情報が38%、話の中身は7%ということでした。相手に好印象をもってもらうには、服装もさることながら挨拶が大切ということで、グループに分かれて挨拶の練習を行いました。「箕輪進修高等学校から参りました～です。よろしくお願いたします」など、実際に使う挨拶があちこちから聞こえてきました。日頃使わない敬語の使い方や、挨拶の時の姿勢などに戸惑いながらも、楽しく練習できました。生徒からは「気をつけの姿勢が難しかった」「敬語の使い方が難しかった」などの感想がよせられました。さあ、今月下旬からいよいよインターンシップ本番だ！頑張れ箕進生！



3年生、進路決定に向けての活動が大詰めに迎えています!

進路ガイダンス



6月25日、3学年ではホームルームの時間を利用して進路ガイダンスが行われました。就職希望者と進学希望者に分かれ、本校進路指導係の教員による説明会という形式で行われました。就職組では山崎教諭により、主に就職に向けての心構えや求人票の見方、社会人としての話の聞き方やメモの取り方に至るまで、きめ細やかな説明がありました。心の持ち方としては、「失敗を恐れずに積極的にチャレンジする気持ちで臨むこと」と、時に厳しい言葉で檄を飛ばす場面もあり、

緊張感の漂う中、生徒たちは先生の話に熱心に耳を傾けていました。

一方、進学希望者では進路指導係が作成した資料により、AO入試や推薦入試、一般入試など様々な入試の形式を紹介し、それぞれの進め方の違いや注意点などの説明がなされました。また、志望校の選び方やその見極め方などにも説明が及びました。かなり細かい部分にまで説明がありましたが、パワーポイントを利用したわかりやすい説明に、生徒たちの理解も深まったようでした。



進路ガイダンス2



7月16日の進路ガイダンスでは、就職希望者は進路指導係の教員による、職場見学におけるポイントや、見学終了後のお礼状の書き方などについての講義がありました。今年は新型コロナの影響もあり、就職戦線は厳しいものになると予想されます。しかし本校で身につけたスキルを携え、進路実現に向けて果敢にチャレンジして欲しいものです。一方、進学希望者は、パソコン室にて調べ学習を行いました。先生がつくったワークシートをもとに、自分が将来就きたい職業から逆算して、それに向けて必要な資格、その資格が取れる学校、学部、学科という順に検索していました。教員2名が教室を回って、検索のしかたなど丁寧に指導していました。このような、進路に向けての手厚い指導は箕輪進修高校の最大の特徴の一つです。



箕輪進修高校ホームページ

<http://www.nagano-c.ed.jp/minowa/>
箕輪進修高校の情報が満載。ぜひご覧ください。
学校に対するご意見・ご要望は、トップページの
[問い合わせメール](#)に送信してください。

